

神経画像診断 Vol.10 ～ 中枢神経疾患全体を包括的に学ぶ

- A) 会場講義 ・会 期: 2025年11月29日(土) 9:55～17:10
 ・会 場: 飯田橋レイナービル 7階 大会議室 / 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地
 ・定 員: 30名(予定) / お昼のお弁当 & 「B」 Web 講義聴講の聴講権利 あり
 ※本「A)会場講義」を撮影・編集加工後、ストリーミング配信による「B)Web 講義」実施。
 B) Web 配信講義 ・配信期間: 2025年12月13日(土) 9:55～12月30日(火) 23:00
 ・定 員: 200名(予定)

受講料: 16,000円(税込、含:講義テキスト[フルカラー]) ※(A)(B)の何れかをください。
 対象医: 初期研修医(2年目以上)・後期研修医・若手医師・神経疾患診療に関心のある先生、他
 診療科/脳神経内科・脳神経外科、総合診療科・内科、放射線科、他
 主 催: 神経疾患に親しみ強くなる会(SST) URL <http://shinkeishikan.kenkyuukai.jp>
 ※1) 本講義テキストは独自に製作致します。聴講後にご活用頂けることも期しております。
 只、製作に約3週間弱必要であること等、当日のご講義スライドと若干相違が生じることがございます
 ※2) 本講義の録画、録音等は、厳禁とさせていただきます。(土田)



【会場へ交通】
 ・JR 総武線
 飯田橋駅 西口より
 徒歩約5分
 ・地下鉄
 有楽町線/南北線/
 東西線/大江戸線
 飯田橋駅
 神楽坂下 B3 出口より
 徒歩約5分

【趣旨】神経疾患は臨床の現場で数多く遭遇するにも関わらず、よくわからないと敬遠されることが多いのも事実です。「神経疾患に親しみ強くなる会」は、神経疾患への臨床的な理解をより深めたいと考えている若手医師、本疾患に多少の苦手意識を持たれその解消を志していらっしゃる医師のために立ち上げました。本会では一つのテーマについて関連した項目を、1日でまとめて学べる構成の教育セミナーを企画、第1回教育セミナー『神経画像診断』(2012/12/22)以来、毎回、講義構成&内容を審議し、ご講義頂く先生方へ充実したご講義をお願いさせて頂いております。そして、聴講頂いた先生方より、臨床に役立ち、学び多い時間として頂けたとのご評価を頂いております。尚、講師の先生方のご尽力により、毎回、独自の講義用テキスト(A4判・140頁位)を製作、これも高いご評価を頂いております。 ※本テキストにご評価は、講師の先生方の大いなるご尽力に帰しております。
 今回の第23回教育セミナーでは、「神経画像診断 Vol.10」と題して、毎回ご要望を頂いております“神経画像診断”を取り上げます。各講義は、てんかん、血管性病変、神経救急、脊髄/脊椎、認知症、レントゲンサインについて6人のエキスパートが講演します。一つ一つのご講義より、臨床に役立つ色々な事々を学んで頂けると考えております。宜しければ、ご参加をご検討頂き、楽しんで学んで頂ければ幸いです。

SST-23th プランナー: 大場 洋 先生(帝京大学医学部 放射線科学講座 教授)
 森 聖 先生(自治医科大学 放射線医学講座 教授・病院長補佐)

【プログラム】

- 開会の辞(9:55～10:00) 森 聖 先生 /自治医科大学 放射線医学講座 教授・病院長補佐、本会運営委員、SST-23th プランナー
- Part.1 (10:00～11:00) 「てんかんの形態画像診断」
 含:質疑応答・約7分
 概要:てんかんにおける形態画像診断の役割、なかでも頭部 MRI の役割を中心にお話しします。
 演者:森 聖 先生 /自治医科大学 放射線医学講座 教授・病院長補佐
- Part.2 (11:05～12:05) 「血管性病変の画像診断」
 含:質疑応答・約7分
 概要:脳小血管病や頭蓋外の血管性病変を中心に、頭部 MRI によって描出されるさまざまな血管性病変の画像所見について解説する。
 演者:松島 理士 先生 /東京慈恵会医科大学 放射線医学講座 准教授
- お 昼 (12:05～12:45/40分)
- Part.3 (12:45～13:45) 「神経救急の画像診断」
 含:質疑応答・約7分
 概要:急性～亜急性の経過を示す神経系疾患の画像診断を解説、供覧する。
 演者:黒川 遼 先生 /東京大学医学部附属病院 放射線科 助教
- Part.4 (13:50～14:50) 「脊髄/脊椎の画像診断」
 含:質疑応答・約7分
 概要:脊髄は細長い構造であり、脳ほど詳細な画像を撮像するのは難しい。そこで重要となるのは、病歴や経過、副所見などと合わせて診断することであり、これらと画像所見との関連について経験症例をもとに解説する。
 演者:向井 宏樹 先生 /千葉大学医学部附属病院 放射線科 助教
- 休 憩 (14:50～15:00/10分)
- Part.5 (15:00～16:00) 「抗アミロイド抗体薬臨床実装下の認知症画像診断」
 含:質疑応答・約7分
 概要:抗アミロイド抗体薬臨床実装が始まって約2年、その適応判断とARIA 評価という重要な役割を画像診断は担った。しかし、同時に「その他」と記されてしまうこともある「多様な認知症背景」に迫ることは、認知症画像診断において重要である。
 日常臨床から見える認知症画像診断の一端を共有したい。
 演者:徳丸 阿耶 先生 /東京都健康長寿医療センター放射線診断科 部長
- Part.6 (16:05～17:05) 「神経放射線レントゲンサインあれこれ」
 含:質疑応答・約7分
 概要:画像診断には数多くのレントゲンサインが存在しています。呼び方も何とか Sign、何とか appearance、何とか lesion などがあり、その成り立ちも複数で、読影に役立ちます。本講義では脳神経領域の画像診断に役立つレントゲンサインを多数供覧したいと思います。
 演者:大場 洋 先生 /帝京大学医学部 放射線科学講座 教授
- 閉会の辞(17:05～17:10) 大場 洋 先生 /帝京大学医学部 放射線科学講座 教授、本会運営委員、SST-23th プランナー

【参加の申込み要領】

※本会サイト <http://shinkeishikan.kenkyuukai.jp> もご覧いただければ幸いです。

- 1) 受講をご希望の方は、下記①～⑤をご明記の上、E-mail: shinkeishikan.shitashimukai@medical-ap.jp へご連絡ください。
- 2) 受講希望のご連絡を頂き次第、本会事務局より、受講料の振込口座等をご明記した「ご案内状」(pdf)を、下記⑤E-mail へお送り致します。
- 3) 正式なお申込みは、(2)の「ご案内状」をご確認頂き、受講料のお振込みをご確認させて頂きました後です。その後、受講票等を郵送致します。

□「神経疾患に親しみ強くなる会(SST)・第23回教育セミナー(SST-23th)」への参加を希望いたします。

◇ご希望頂く講義形式を必ずお教えてください。 (A)会場講義 (B)Web配信講義	① 参加者氏名/フリガナ	② 所属施設・所属科/初期研修医・後期研修医、専門医、他	③ 連絡先電話番号
	④ 郵便番号および住所 〒	⑤ 連絡先 E-mail	

※「受講票」「領収証」、並びに、(B)ご参加の先生への「講義用テキスト」ご郵送先となります。